

情報・エレクトロニクス部門に関する補足資料

1. コンピュータ

<売上高(内外販合計)>

(上段：前年度比、単位：億円)

	2000年度			2001年度(見込)		
	上	下	計	上	下	計
連結	99%	108%	103%	113%	109%	111%
合計	7,950	9,320	17,270	9,000	10,200	19,200
個別	100%	106%	103%	102%	100%	101%
合計	6,230	7,250	13,480	6,340	7,220	13,560
国内	105%	101%	103%	103%	102%	103%
	5,150	6,000	11,150	5,320	6,140	11,460
輸出	81%	136%	104%	94%	86%	*90%
	1,080	1,250	2,330	1,020	1,080	2,100
輸出比率	17.3%	17.2%	17.3%	16.1%	15.0%	15.5%

\*海外関連会社との契約形態変更の影響で減少するが、従来ベースでは112%の伸びとなる。

<事業概況>

2000年度：国内では、金融部門などを中心としたソリューション事業が堅調に推移し、海外ではストレージ事業が伸長したことにより増収を達成。

2001年度：国内では引き続きソリューション事業が拡大し、海外でもストレージ事業が伸長する見込み。

<主要製品受注台数(個別ベース 輸出モデルを含む。但し、PCには輸出モデル含まず)>

	2000年度			2001年度(見込)		
	上	下	計	上	下	計
スーパーコンピュータ	10	12	22	11	13	24
超大型汎用コンピュータ	96	68	164	5	5	10
大型汎用コンピュータ	167	97	264	39	40	79
(超大型+大型)	(263)	(165)	(428)	(44)	(45)	(89)
中小型汎用コンピュータ	121	104	225	132	130	262
汎用コンピュータ	384	269	653	176	175	351
UNIXサーバ	1,400	800	2,200	1,300	1,600	2,900
UNIXワークステーション	1,000	700	1,700	700	700	1,400
PC(PCサーバ含む)	310,000	340,000	650,000	330,000	390,000	720,000
大容量磁気ディスク装置(RAID)	3,300	5,400	8,700	7,000	9,000	16,000

\*スーパーコンピュータ、汎用コンピュータの台数は、実数は命令プロセッサ。但し、スーパーコンピュータの並列機(SRシリーズ)についてはシステム。大容量磁気ディスク装置についてはドライブ。

<製品分野別 情報事業国内受注内訳(個別ベース)>

	1999年度	2000年度
ハード	約 43%	約 38%
ソフト・サービス	約 57%	約 62%

\* 情報事業(システムソリューショングループ、情報・通信プラットフォームグループ、i.e. ネットサービスグループ(除く通信))

<業種別 情報事業国内受注内訳(個別ベース)>

	1999年度	2000年度
金融	約 27%	約 28%
製造	約 19%	約 20%
流通	約 19%	約 21%
公共、その他	約 35%	約 31%

\* 情報事業(システムソリューショングループ、情報・通信プラットフォームグループ、i.e. ネットサービスグループ(除く通信))

## 2. 通信

<売上高(内外販合計、個別ベース)> (上段：前年度比、単位：億円)

	2000年度			2001年度(見込)*		
	上	下	合計	上	下	合計
合計	109% 1,010	109% 1,170	109% 2,180	115% 1,160	110% 1,290	112% 2,450
輸出比率	9%	11%	10%	14%	12%	13%

\*なお、2001年度から光部品事業については関連会社に事業移管されている。従来ベースでは前年度比129%となる。

<事業概況>

2000年度：国内において携帯電話や、ISDN交換機が好調に推移したことに加え、北米向け光部品が大きく伸長した事により前年度を上回った。

2001年度：国内市場向けの携帯電話や、北米向けの光伝送装置の大口案件を計上するなど、前年度を上回る見込み。

## 3. 半導体

<売上高(連結ベース)> (上段：前年度比、単位：億円)

	2000年度			2001年度(見込)		
	上	下	合計	上	下	合計
合計	122% 3,900	109% 3,800	115% 7,700	95% 3,700	108% 4,100	101% 7,800

<事業概況>

2000年度：マイコンを中心にシステムLSI製品や、GSM用ハイパワーアンプ、またシステムメモリ製品などが伸長し、売上高は前年度比115%の7,700億円となった。

2001年度：システムLSI製品やシステムメモリ製品が伸長するものの、DRAMやディスクリットなどが減少し、売上高は前年度比101%の7,800億円を見込む。

<事業部別売上高構成比>

	2000年度	2001年度(見込)
DRAM事業部	18%	15%
システムメモリ事業部	9%	11%
システムLSI事業部	48%	50%
汎用半導体事業部	25%	24%

<半導体設備投資(連結ベース)>

(単位：億円)

		2000年度	2001年度(見込)
	那珂地区	140	100
	高崎地区	120	70
	甲府地区	300	170
	その他	200	100
親会社合計		760 (上期 360:下期 400)	440 (上期 90:下期 350)
	トセテクノロジーズ	700	550
	その他	480	200
	国内子会社	1,180	750
	HNS*	130	140
	その他	130	70
	海外子会社	260	210
	子会社合計	1,440	960
連結合計		2,200 (上期 1,480:下期 720)	1,400 (上期 330:下期 1,070)

\* HNS : Hitachi Nippon Steel Semiconductor Singapore Pte.Ltd.

<DRAM生産個数(連結ベース)>

	2001年4月現在	今後の計画
64MDRAM	600万個/月	01年12月末:300万個/月、02年3月末:200万個/月
256MDRAM	200万個/月	01年12月末:300万個/月、02年3月末:350万個/月

<フラッシュメモリ生産個数(連結ベース)>

	2001年4月現在	今後の計画
*64Mフラッシュメモリ	10万個/月	01年12月末:10万個/月、02年3月末:10万個/月
256Mフラッシュメモリ	60万個/月	01年12月末:80万個/月、02年3月末:100万個/月

\*64Mフラッシュメモリは、保守分のみ生産。

<マイコン売上高(連結ベース)> (単位：億円)

2000年度	前年度比	2001年度(見込)	前年度比
2,400	120%	2,600	108%

#### 4. ディスプレイ

<売上高(連結ベース)>

(単位：億円)

	2000年度		2001年度(見込)	
		前年度比		前年度比
売上高	2,700 (上期:1,500 下期:1,200)	93%	2,800 (上期:1,200 下期:1,600)	104%
主要製品売上高				
液晶	1,530	96%	1,700	111%
カラーディスプレイ管	590	84%	490	83%
カラーラウ管	220	85%	270	123%
プロジェクト管	200	111%	240	120%

<事業概況>

2000年度：TFT液晶及びカラーディスプレイ管の価格下落のため、売上高は前年度比93%の2,700億円となった。

2001年度：TFT液晶での新生産ラインの立ち上げ及び中小型分野への参入により、売上高は前年度比104%の2,800億円を見込む。

<液晶生産規模(連結ベース)>

(単位：億円)

	2000年度				2001年度(見込)			
	上	下		前年度比	上	下		前年度比
TFT	790	550	1,340	93%	580	860	1,440	107%
STN	100	90	190	119%	110	150	260	137%
計	890	640	1,530	96%	690	1,010	1,700	111%

<液晶設備投資(連結ベース)>

(単位：億円)

	2000年度				2001年度(見込)	
	上	下		前年度比		前年度比
投資額	280	270	550	177%	100	18%

以上